

社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)レビューシート

団体名: 特定非営利活動法人京田辺シュタイナー学校

訪問調査日: 2011年6月25日(土)

ナビゲーター: 主査 平尾剛之 副査 齋藤圭津子

評価大項目(分類)	評価中項目	絶対評価コメント	達成率
I. 組織ミッション(社会的使命)と事業の推進	[1]組織ミッション(社会的使命)の確立	組織ミッションは定款をはじめ、ホームページ・パンフレットに明記されており、非営利組織としての位置付けが多様に確認できる。シュタイナーの教育理念に基づいた基幹事業(学校づくり・運営)の推進状況が確認できる。	22/24 達成率 92%
	[2]組織ミッションと事業の策定	中長期事業計画「社会とのつながり編(2011-2017)」策定され、会員に配布されている。単年度事業計画は、定期総会議案書からも確認ができ、ホームページでも閲覧可能な状態にある。また、単年度事業計画は、保護者や教職員を交えた運営会議において合意形成を図りながら策定されており、策定のプロセス(過程)は、「運営会議便り」に記述し配布されている。	
II. 組織と経営管理	[1]意志決定機関とガバナンス	理事会・総会は直近の議案書からも適切な開催状況が確認できる。理事の職務分担状況はホームページからも確認できる。「運営会議」を中心とする意思共有が有効に行われているが、開校10年目を迎え、現在組織体系の見直しに取り組まれている。法人運営上必要となるコンプライアンスの把握は行われているが、研修会等さらに取組みが求められる。法人の経営環境は適切に把握・管理されており、外部監査が実施されている。	36/43 達成率 84%
	[2]適切な財務計画と執行・管理	「運営計画シート」「予算説明資料」を策定し、経営計画に基づいた執行状況が確認できる。会員等への周知についてはさらに工夫が必要との認識がある。会費だけでなく、3000円×200件の寄附を集めた実績を聞き取ることができた。納税等は納税証明書からも適切に行われている状況が確認できる。	
	[3]職員と労働環境	就業規則・給与規定等必要な規定の整備状況が確認でき、職員の中小企業退職金共済等、福利厚生に対する取組みが見受けられる。校務分掌表を作成し、定期的な見直しが行われている。教職員は勉強会や教員研修等が定期的に行われている。	
III. 事務局の執行体制と管理	[1]組織・事務局体制の確立	事務所機能は明確であり、決められた時間帯において、いつでも電話・来所対応が可能になっている。登記事項の更新、所轄庁への報告等、必要な手続行われている状況が確認できる。	25/31 達成率 81%
	[2]会計全般	経理に関する管理規定は策定されていないが、慣例的なルールに沿って適切に処理が行われている。専門的な知識をもった担当者によって会計処理が行われ、必要に応じて、顧問税理士からアドバイスを受けることのできる体制がある。	
	[3]事業を推進するための体制やルール	ホームページ・総会議案書から単年度事業計画にもとづいた事業が遂行されている状況が確認できる。稟議・起案書等事業を執行する際の組織的なルールは確認できないが、運営会議での審議による事業実施の他、成果報告や事業評価が行われている。	
IV. 社会資源の活用	[1]社会資源(企業/行政/市民など)の連携と活用	ボランティアとして、教員志望者の受入れを積極的に行っている。会員のボランティア活動は常態的に確認できるが、会員外のボランティア活動受入れの体制は整っていない。大学や財団法人、企業(生徒の職場体験)との協働実績の他、通産省からインターンの受入れ実績がある。	13/16 達成率 81%
V. 情報の公開と社会的信頼	[1]情報の公開	組織情報はホームページやパンフレットで公開されており、フロー情報もホームページで随時更新されている。広報は、「学校だより」「運営会議便り」「プラネット」メールマガジン等でも発信されている。	17/18 達成率 94%
	[2]第三者による評価	ユネスコスクール加盟認定校としての実績がある。キリン福祉財団等からの助成実績も確認できる。メディアでは、地元紙以外の4大紙にも掲載されている。	
VI. 組織のリスクマネジメントと社会的責任の追求	[1]組織のリスクマネジメント	書類やデータの保管、管理について規定等も確認できず、取組みにも課題が見受けられる。個人情報保護規定等は確認できなかった。ボランティア保険の加入等、組織特有のリスク対応について一定度の取組み状況、会議等で議論・共有されている。	7/18 達成率 39%
	[2]組織の社会的責任の追求	オルタナティブ(もうひとつの)教育法案や多様な教育環境構築に向けた政策提言活動が行われている。シュタイナー教育の中にも環境教育があり、その実践にむけての取組みがある。	

【相対評価(セルフレビュー)／総括コメント】

NPO法人立の全日制教育機関として運営11年目。現在、生徒数250名規模にまで成長しました。できる限り会議参加者が対等な立場で発言し、話し合い、合意形成を行い進んでいます。保護者は主体的・意欲的に学校の設備維持、行事、財務、広報等あるゆる運営活動に参加しており、助け合いながら業務を遂行する体質が培われているのが強みです。シュタイナー教育という信念を軸にしていますが、それをただ守るのではなく、時代と共に進化させていくことが重要だと考えています。そのために、教育実践・運営の両面において、新たな参加者の力が活かされる環境づくりを心がけ、学校の規模がどんなに拡大しても、教員と保護者で「ともに創りつづけていく学校」であり続けることを何よりも大切にしています。

財政的な問題から事務局が学校の保健室を兼ね、人員も足りない等課題は多い。その中で、2名の職員は意欲的に教員と保護者の為に働き、学校の行事などにも心を向けてサポートしています。職務は経理事務と教務に分かれていて、定期的に業務連絡の時間を設け、円滑な処理に努力しています。安定的な経済基盤の確保の観点からは幾つかの検討対象がありますが、現状としてはクリアできない学校関連法令上の課題が多い。一方、開校10年目にユネスコスクールに加盟し、教育事業は広がりを見せています。その活動をさらに広げると同時に、それ以外の教育機関とも協働する機会を見つけない、また、地域・近隣との結び付きを改めて見直し、学校がどのように地域と結び付けるかを考える時期に来ていると考えています。当校で行っている教育は、未来の社会を担っていく人材育成を強く意識した教育であり、この学校を卒業した子どもたちが、自らの社会貢献を当然として行動できる大人になること、そして、持続可能な社会を実現する、社会に寄与する大人になることを願っています。また、当校の実践を通じて日本の教育制度の規制緩和が実現し、新たな教育制度の形成につながると信じて日々運営しています。

本法人は、日本の公教育の範疇において、補完的というよりはオルタナティブ(もうひとつの)な教育場面を提示し、ミッションに基づいた明確な運営状況の推進が見受けられます。法律・制度の壁に阻まれながらも新しい教育の可能性をNPO法人として、多様な人との関わりを大切にしながら推進されていることは高く評価できます。組織の公益性という観点においた事業の推進をさらに期待しますが、本社会的認証システムー第三者認証(ステップ3)において認証しました。

120/150
総合達成率
80%